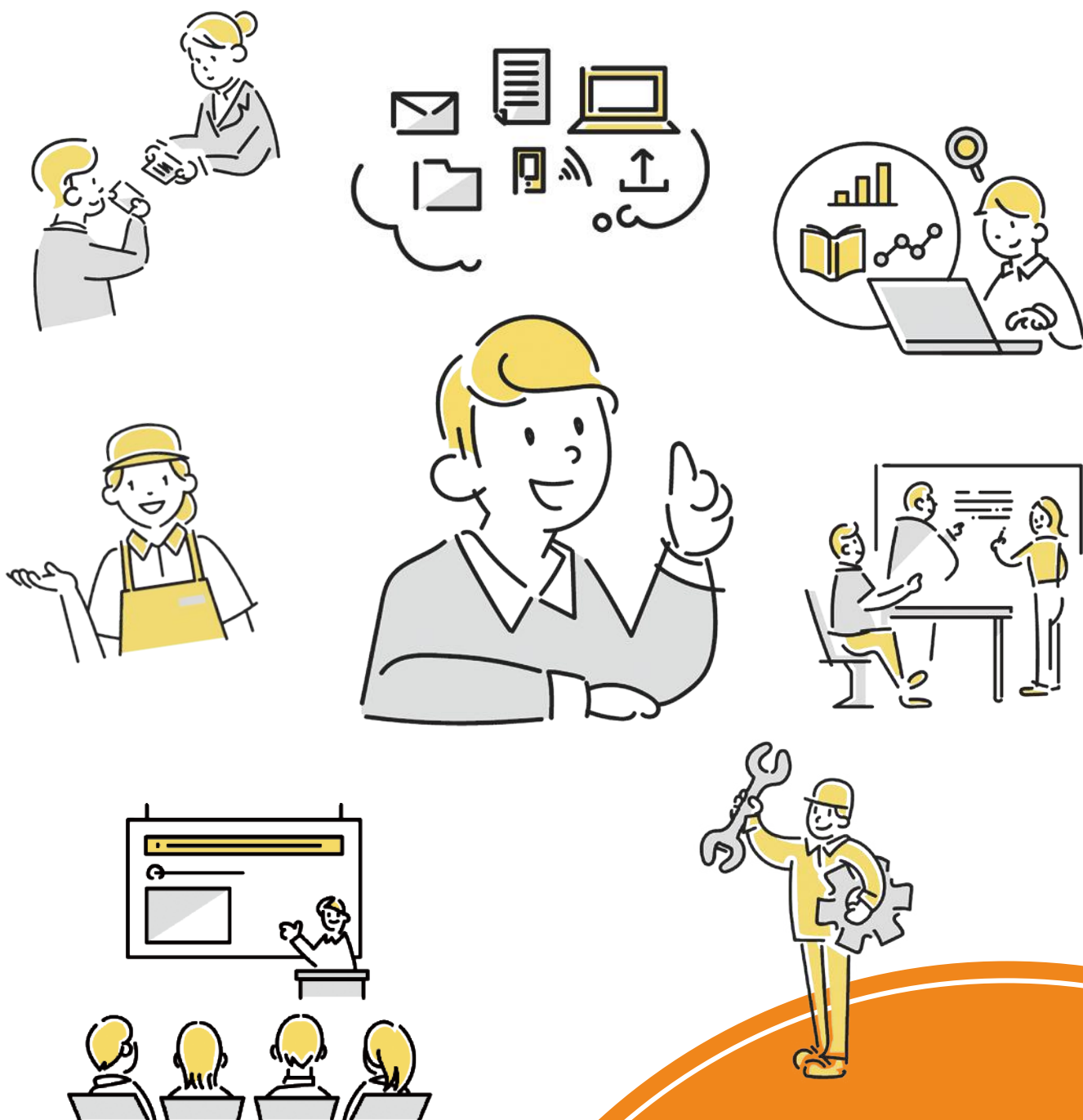


2022

就業体験型インターンシップ 実施報告書



特定非営利活動法人
大学コンソーシアム大阪

はじめに

.....
2022年度
就業体験型インターンシップを終えて
.....



特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪
キャリア支援部会長 山本 俊一郎
(大阪経済大学長)

大学コンソーシアム大阪では、今年度も関係各位のご協力により、就業体験型インターンシップ・プログラムを滞りなく終了いたしました。受入企業・団体関係各位および会員大学関係各位におかれましては、ご多忙な時期にも関わらず、実習生のためにご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本法人では、2007年より就業体験型プログラムを実施してまいりましたが、ここ数年にわたるコロナ禍の影響を含む社会情勢の変化は前例がないものであり、学生の就職を取り巻く状況もそれに伴い変化の渦中にあります。

また、今年6月には「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方（文部科学省、厚生労働省、経済産業省）」（いわゆる三省合意）が改正され、インターンシップのあり方も再考を迫られております。

このような中、本法人の事業実施にあたっては、引き続きインターンシップをキャリア教育の一環として位置づけ、学生の学びに係るサポート体制の一層の充実をはかるとともに、自治体や企業と連携しながら時宜にかなったものへと展開できるよう検討を行ってまいります。

今後とも、本法人が実施するインターンシップ事業についてご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

目 次

I	概要および実施内容	
1	概要	2
2	実施スケジュール	3
3	事前・事後研修	4
II	実績	
1	学生参加状況	6
2	エントリー企業・団体	8
III	アンケート	
1	学生アンケート結果	10
2	企業・団体アンケート結果	18

I 概要および実施内容

1 概要

大学コンソーシアム大阪の就業体験型インターンシップは、2007年から在阪の企業や官公庁等の協力のもと、学生の夏期休暇期間中に実施している。出願は、会員大学に在籍する全ての学生（院生、留学生含む）に門戸を広げ、職業・勤労観の養成と実社会への適応能力の育成を目指している。

【募集方法】 ポスター、リーフレット、ホームページにより募集

【対象者】 会員大学在籍学生 全学年（院生・留学生含む）

【学生参加状況】 6・7ページ参照

【指導担当者】 インターンシップ推進委員

【エントリー企業・団体】 8・9ページ参照



2 実施スケジュール

日	程	大学コンソーシアム大阪事務局	学 生	大 学	企業・団体
2月					
3月	中旬 25日 金	募集ガイド 郵送 (→大学) 学生向け情報 発信開始 (HP) 事業説明動画 配信 (→大学)	募集ガイド 受領 (大学→)	募集ガイド 配布・周知 (→学生) 事業説明動画 視聴	エントリー
4月					↓
5月	上旬	企業・団体情報 HP 公開	企業・団体情報 HP 閲覧		5月6日締切
	11日 水	学生向け説明会 (オンライン:Zoom) ※希望者のみ ※後日、動画をアーカイブ配信			
			出願期間	出願票確認・Web承認	
	27日 金		↓ 5月27日締切	↓	
	30日 月			↓ 5月30日締切	
6月	1日 水	面接案内 送付 (→学生、大学)	面接案内 受領 (コンソ→)	面接案内 受領 (コンソ→)	
	5日 日	面接 (オンライン:Zoom)			
	16日 木	選考結果 通知 (→学生、大学)	選考結果 受領 (コンソ→)	選考結果 受領 (コンソ→)	
	20日 月	実習生情報 通知 (→企業・団体)			実習生情報 受領 (コンソ→)
	22日 水		実習日程 調整 (→企業) 実習日程 報告 (→コンソ) 6/22~6/30		実習日程 調整 (学生→) 6/22~6/30
	30日 木				
7月	3日 日	事前研修 (オンライン:Zoom)			
		三者間協定 手続 ※実習開始までに		三者間協定 手続 ※実習開始までに	三者間協定 手続 ※実習開始までに
8月			実習期間 8月上旬~9月中旬		実習期間 8月上旬~9月中旬
9月	中旬				
	25日 日	事後研修・交流会 (対面:追手門学院大学 総持寺キャンパス)			
	下旬				実習日誌・評価表 送付 (→コンソ) 実習終了後~9月末
10月	上旬	実習日誌・評価表 受領 (企業・団体→) 送付 (→大学)		実習日誌・評価表 受領 (コンソ→) 返却 (→学生)	調査票 送付 (→コンソ)
	中旬~ 下旬		実習日誌・評価表 受領 (大学→)		
11月					
12月	中旬	実施報告書 作成・送付 (→企業・団体、大学)		実施報告書 受領 (コンソ→)	実施報告書 受領 (コンソ→)

3 事前・事後研修

1) 事前研修 7月3日(日) 10:30～15:00 実施

【場所】 オンライン (Zoom)

内 容	目的等
オリエンテーション (5分)	研修スケジュールおよび概要説明。 プログラムに臨む心構えを学ぶ。
先輩に学ぶ インターンシップ (55分)	実際にインターンシップを体験した先輩の話聞くことにより、実習のイメージをつかむ。 
ケーススタディ (80分)	<ul style="list-style-type: none"> • 実習で起こりうるトラブルを具体的に想定。 • グループでの意見交換を通じて、事前課題(※)で学んだ内容を振り返るとともに、多様な考えに接し、自身の実習に活かす。 
目標設定 (40分)	他の学生と目標を共有し、実習に向けて自身の目標を明確にする。

※事前課題：以下のオンデマンド動画を視聴のうえ、必要な知識、素養の獲得に努める。

(1) ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング (80分)

ビジネスマナーの基本を学び、対人関係におけるコミュニケーション能力を養う。

(2) リスクマネジメント・企業理解 (60分)

インターンシップに参加する意義、職場における基本的ルール、個人情報や営業秘密の取り扱い、SNS利用上の注意点などについて理解し、想定されるリスクへの対応力を高める。

内 容	目的等
企業講演 (60分)	<p>「企業が求めるこれからの時代の人財・働き方とは」について、企業側の話聞き、社会人として必要な能力や行動についてイメージをつかむ。</p> <p>講師：ゲンゼ株式会社 人事総務部 人財開発室 マネージャー 平岡 真澄氏（※）</p>   <p>※大阪市とゲンゼ株式会社との包括連携協定に基づき、講師派遣にご協力いただきました。</p>
グループワーク・ 発表 (90分)	<ul style="list-style-type: none"> • 実習体験とそこから得られた気づきを共有し、自身のキャリア形成にどう活かすかを考える。 • 実習で得た実体験および前半の企業講演を踏まえ、「社会ではどのような能力や行動が評価されるのか」、「自身に足りないものは何か」についてディスカッションを行い、総括とする。 • 各グループにおいて「わたしが感じた社会人に必要な力とは？」をテーマとして発表を行い、講師からのフィードバックを受け、気づきを深める。  
修了証授与 (10分)	<p>各グループにおいて修了証を授与。</p> 

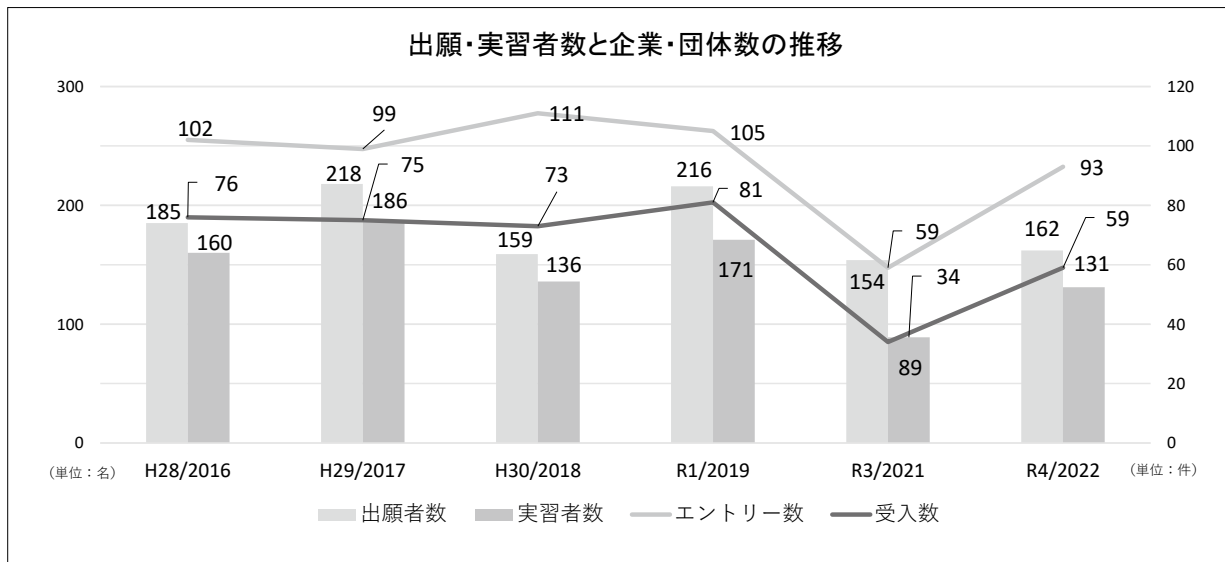
Ⅱ 実績

1 学生参加状況

■大学別

単位：名

大学名	出願者数	マッチング者数	実習者数	大学名	出願者数	マッチング者数	実習者数
大阪大学				大阪総合保育大学			
大阪教育大学	1	1	1	大阪体育大学			
大阪公立大学	7	6	5	大阪電気通信大学	40	32	32
藍野大学				大阪人間科学大学			
追手門学院大学	3	3	3	大阪保健医療大学			
大阪青山大学				大手前大学	7	5	5
大阪医科薬科大学				関西大学	1	1	0
大阪音楽大学	1	0	0	関西福祉科学大学			
大阪学院大学	2	0	0	近畿大学	15	14	12
大阪観光大学	3	1	1	四條畷学園大学			
大阪経済大学	5	4	4	四天王寺大学	6	5	5
大阪経済法科大学				摂南大学			
大阪工業大学				千里金蘭大学	2	2	2
大阪国際大学				相愛大学	7	7	5
大阪産業大学	25	23	22	宝塚大学			
大阪樟蔭女子大学	17	17	17	梅花女子大学			
大阪商業大学				阪南大学	13	12	10
大阪女学院大学	5	5	5	東大阪大学			
大阪信愛学院大学				森ノ宮医療大学	2	2	2
大阪成蹊大学				計	162	140	131



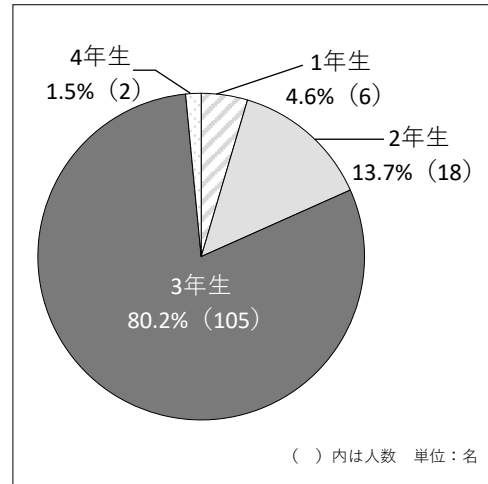
※2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、中止

■学年別 出願・実習者数

単位：名

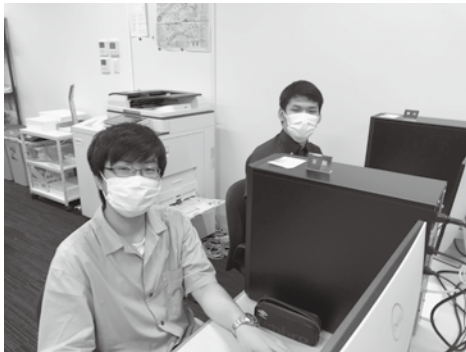
学年		男子	女子	合計	全体に占める割合
1年生	出願者数	2	8	10	6.2%
	実習者数	0	6	6	4.6%
2年生	出願者数	2	19	21	13.0%
	実習者数	1	17	18	13.7%
3年生	出願者数	77	52	129	79.6%
	実習者数	60	45	105	80.2%
4年生	出願者数	2	0	2	1.2%
	実習者数	2	0	2	1.5%
合計	出願者数 (うち留学生3)	83	79	162	100.0%
	実習者数 (うち留学生1)	63	68	131	100.0%

学年別 実習者数



■学部別 実習者数

単位：名



学部名	人数	学部名	人数
総合情報学部	26	国際コミュニケーション学部	2
工学部	19	国際日本学部	2
経済学部	17	国際教養学部	1
学芸学部	12	国際交流学部	1
経営学部	10	国際学部	1
健康栄養学部	5	人間科学部	1
国際・英語学部	5	経営情報学部	1
人文社会学部	4	社会学部	1
人文学部	3	総合社会学部	1
国際観光学部	3	情報社会学部	1
音楽学部	2	教育学部	1
建築&芸術学部	2	児童教育学部	1
保健医療学部	2	地域保健学域	1
生活科学部	2	文学部	1
現代システム科学域	2	法学部	1
合 計		131	

2 エントリー企業・団体

エントリー数 93、送り出し数 59

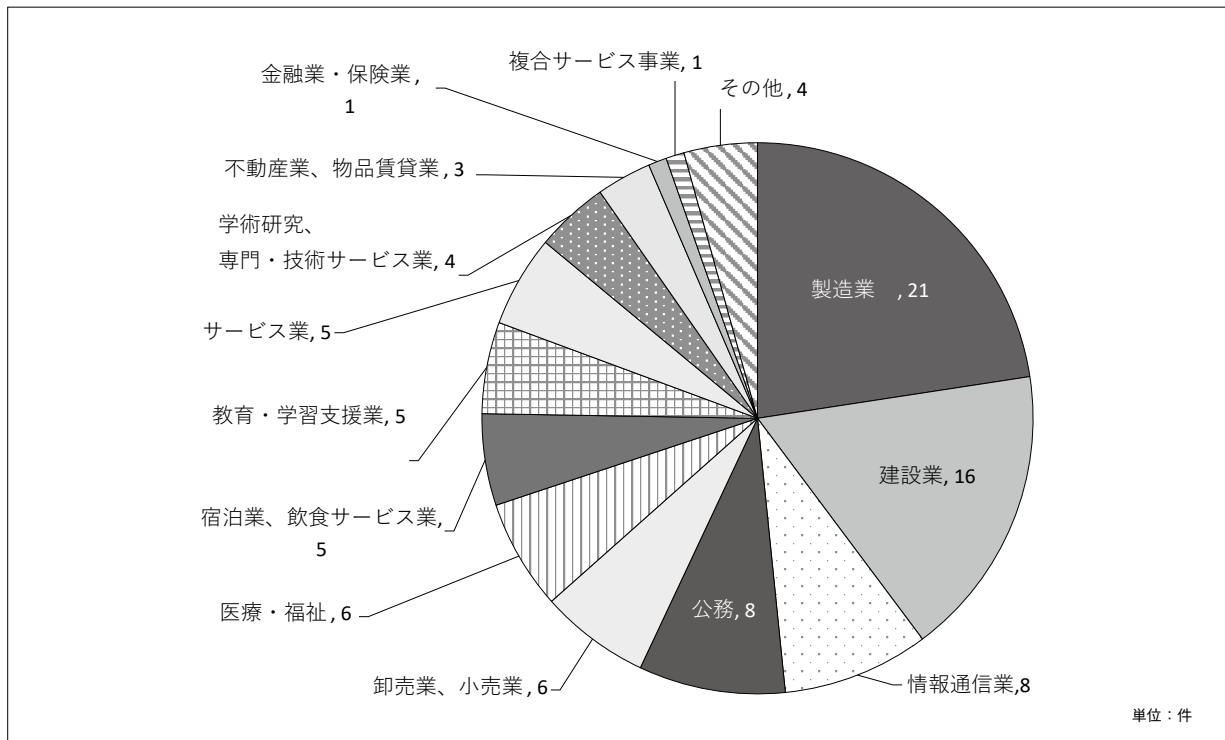
※企業・団体名50音順

No.	企業・団体名	実習者数	No.	企業・団体名	実習者数
1	社会医療法人愛仁会	0	48	鈴木合金株式会社	0
2	株式会社アイティープランニング	2	49	生和コーポレーション株式会社	1
3	あおみ建設株式会社	0	50	摂津市役所	2
4	社会福祉法人あかつき福祉会	0	51	株式会社ソフトム	2
5	株式会社浅川組	0	52	大成温調株式会社	0
6	旭建設株式会社	0	53	大鉄工業株式会社	1
7	株式会社味の吉川	2	54	TAKUTO グループ	1
8	株式会社尼崎工作所	1	55	学校法人谷岡学園	1
9	社会福祉法人永寿福祉会	1	56	チトセ工業株式会社	0
10	エース設計産業株式会社	0	57	株式会社中央電機計器製作所	1
11	愛媛県大阪事務所	0	58	寺崎電気産業株式会社	1
12	株式会社エフ・ラボ	4	59	株式会社電業	1
13	一般財団法人大阪教育文化振興財団	2	60	東果大阪株式会社	1
14	公益社団法人大阪自然環境保全協会	1	61	東洋スクリーン工業株式会社	2
15	大阪司法書士会	1	62	特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21	3
16	大阪信用金庫	9	63	豊中市役所	3
17	大阪石材工業株式会社	0	64	豊中市立文化芸術センター	8
18	大阪中央ダイカスト株式会社	2	65	株式会社中田製作所	0
19	大阪府泉南郡熊取町役場	1	66	社会福祉法人長野社会福祉事業財団	0
20	大津観光株式会社里湯昔話雄山荘	2	67	株式会社ナフコ	3
21	株式会社カースキャリアセンター	3	68	奈良県川西町役場	2
22	株式会社加藤建設	0	69	奈良トヨタ株式会社	2
23	金井ホールディングス株式会社	1	70	株式会社日南	0
24	株式会社かわべフードサービス	1	71	株式会社日刊工業新聞社西日本支社	1
25	関西福祉科学大学図書館	1	72	日工電子工業株式会社	1
26	株式会社関西マツダ	2	73	日本ハウズイング株式会社	1
27	株式会社木内計測	0	74	長谷川電機工業株式会社	0
28	共栄ダイカスト株式会社	0	75	ビーイングホールディングス株式会社	1
29	京都市役所	0	76	NPO 法人ピープルアクティブライフ	5
30	紀洋木材株式会社	0	77	株式会社ヒッツカンパニー	4
31	共和技術工業株式会社	0	78	株式会社ベオスアイティールディングス	7
32	協和テクノロジーズ株式会社	0	79	放送文化総研有限会社	2
33	特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター	2	80	社会福祉法人豊年福祉会	1
34	株式会社近鉄・都ホテルズホテル近鉄ユニバーサル・シティ	5	81	前田道路株式会社	0
35	株式会社クラックスシステム	4	82	マツダ株式会社	1
36	栗本建設工業株式会社	0	83	株式会社松田組	0
37	株式会社グルメ杵屋	2	84	三菱電機コントロールパネル株式会社	1
38	株式会社甲和ビルド	0	85	有限会社南歯車製作所	2
39	社会福祉法人堺暁福祉会特別養護老人ホーム遊づる	0	86	守口市役所	1
40	株式会社サカイ引越センター	1	87	株式会社森本組	0
41	佐藤工業株式会社	0	88	八尾市役所	9
42	株式会社サンテック大阪支社	0	89	株式会社箭木工所	1
43	株式会社ジェッター	0	90	ヤマト工業株式会社	0
44	株式会社ジオリゾーム	1	91	株式会社遊文舎	1
45	シグマ薬品株式会社	1	92	由利ロール株式会社	1
46	シバタ工業株式会社	0	93	株式会社ロードカー	4
47	SHINT 株式会社	0		合計	131

単位：名

【エントリー企業・団体 業種別】

〈93企業・団体〉



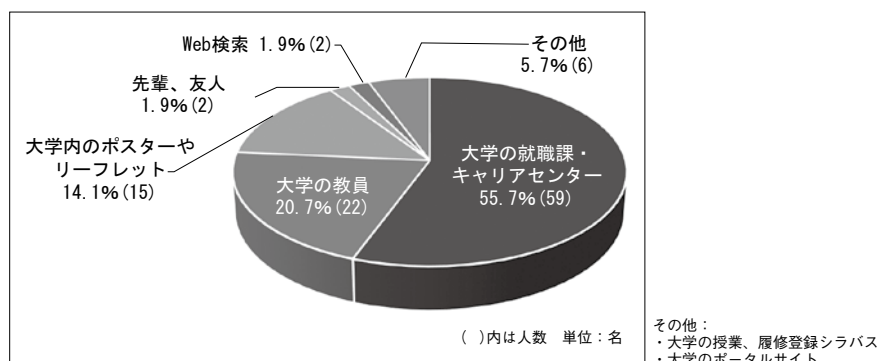
業 種	企業・団体数
製造業	21
建設業	16
情報通信業	8
公務	8
卸売業、小売業	6
医療・福祉	6
宿泊業、飲食サービス業	5
教育・学習支援業	5
サービス業	5
学術研究、専門・技術サービス業	4
不動産業、物品賃貸業	3
金融業・保険業	1
複合サービス事業	1
その他	4
合 計	93

単位：件

Ⅲ アンケート

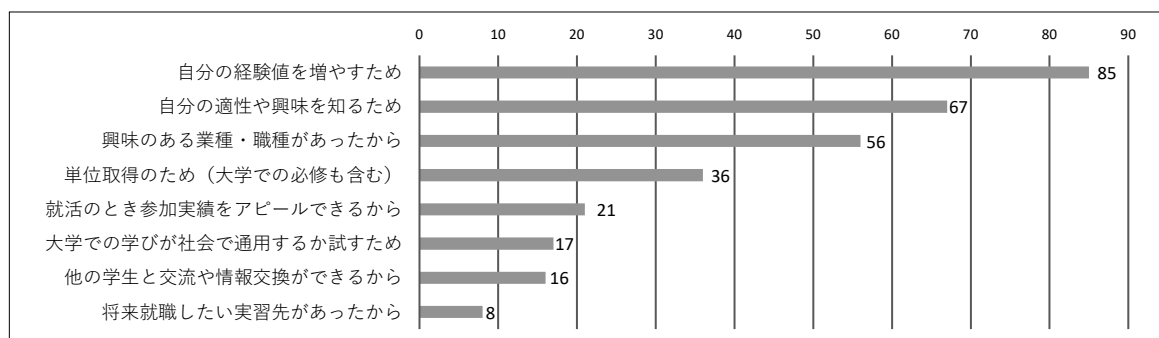
1 学生アンケート結果（回答者数 106 名）

1. このインターンシップ・プログラムを知ったきっかけ



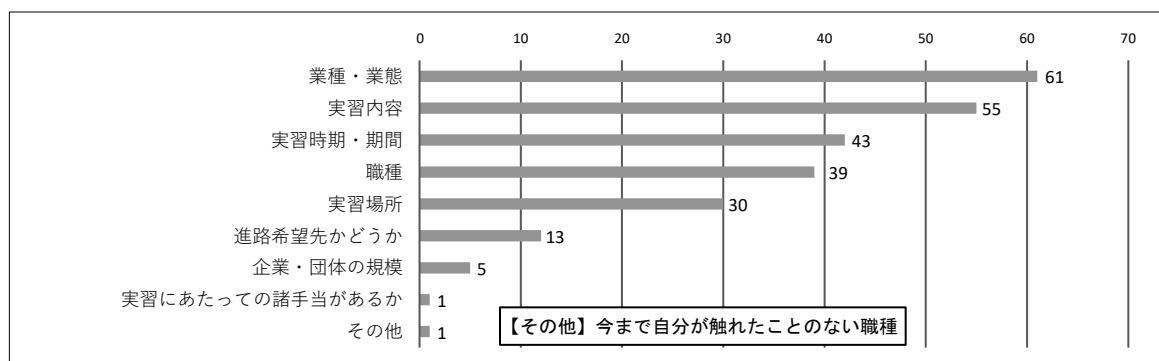
2. インターンシップ・プログラムに参加した理由（複数回答可）

単位：名

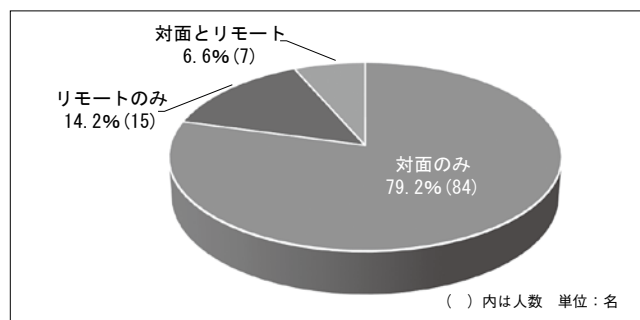


3. 実習先を選択した際の優先事項（複数回答可）

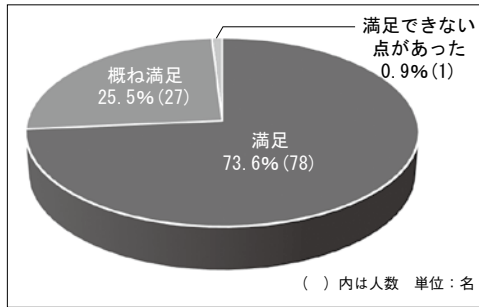
単位：名



4. 実習形式



5. 実習内容の満足度



⇒ その理由 (抜粋)

【満足・概ね満足】

- ・今までに経験したことのないことをたくさん経験できて成長できた実感している。
- ・普段なかなかできない社会人や企業の人事の方と交流がとても勉強になった。
- ・新規事業として展開されているECサイトの商品提案から掲載画像の撮影や文面を考えたところ、実際に掲載してもらうことができ、自分の努力が目に見える形となったため。
- ・事業の概要からホール運営の平均予算案など職員の方から詳しく聞く機会があり、実際にインターンに参加することでしか学べない知識が多くあった。

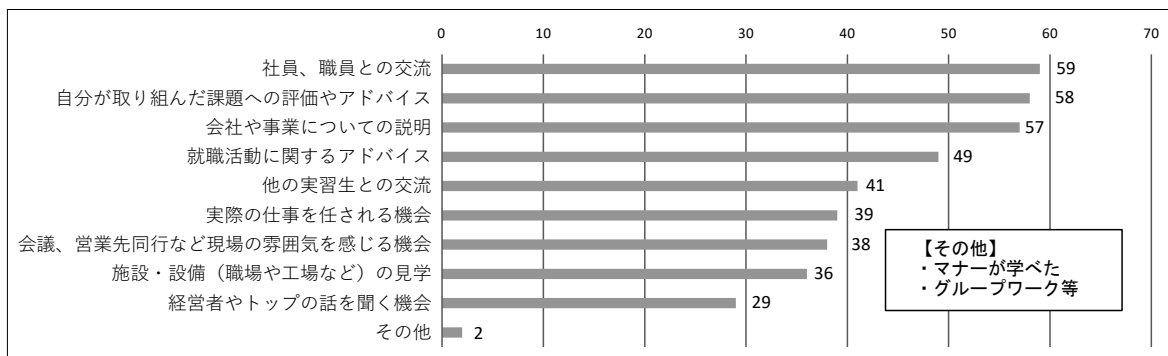
- ・電話対応からスタッフとの企画まで、幅広く業務に携わらせていただけたから。
- ・就職活動を始めるにあたっての準備、社会人としてのマナー等、大学ではなかなか学べないことを学べた。
- ・自己分析ワークや営業ロールプレイング研修など、5日間で幅広いことを経験できた。
- ・今後使えるスピーチの基礎を教えてもらい、自分のランクが少し上がったような気がしたから。
- ・実践に近い内容を学ぶことができたから。
- ・学生目線でインターンを開催していただいたから。
- ・会社の一員として接していただけて、今後の糧になった。
- ・実習担当者がとても親切で、さまざまな経験を積ませてくださった。
- ・手厚いサポートで進めやすく、自主性を重んじた実習内容でのびのびと進められた。
- ・企業の理念や経営目的を知ること、自分の興味関心が広がったため。
- ・将来なりたい社会人像が具体化したため。
- ・自分が視野が狭いという弱点を把握できた。
- ・自分が大学で学んできたことが社会でどのようにして役に立つかを知ることができ、また自分の技術力がどれくらいかを他のインターン生や会社の人と比べることができたから。
- ・自分について知る機会を作れたから。
- ・自分の適性を測れたから。
- ・10日間という長期のインターンであったため、他のインターンよりも経験として吸収できる部分が多かった。
- ・とても充実した期間だったなと感じた。本当はもっと実習したいと思ったので2週間がとても短く感じた。
- ・初めてのインターンシップだったが想像以上に楽しく、もっと他のインターンシップにも積極的に参加したいという気持ちになったから。
- ・大変なこともあったが、達成感を得られた。

【満足できない点があった】 ※満足、概ね満足と回答したその理由に不満点の記載があった場合を含む

- ・コロナに罹り、後半行けなかったため。もっと学びたかった。
- ・自分が求めている技術を学ぶことができたが、コミュニケーションを取る機会があまりなかった。
- ・やる事が単純でもっと色々したかった。
- ・講座的内容が多く勉強になったが、実際に働く現場に関わる機会は少なかった。
- ・ビジネスマナーなどはあまり学べなかった。
- ・全てリモートで、業務の体験をすることができなかったため。
- ・リモートのみでの実施だったので、もう少し実践的な業務内容も体験したかった。
- ・(リモートだったため) 対面で企業の雰囲気や自分の目で見たかった。

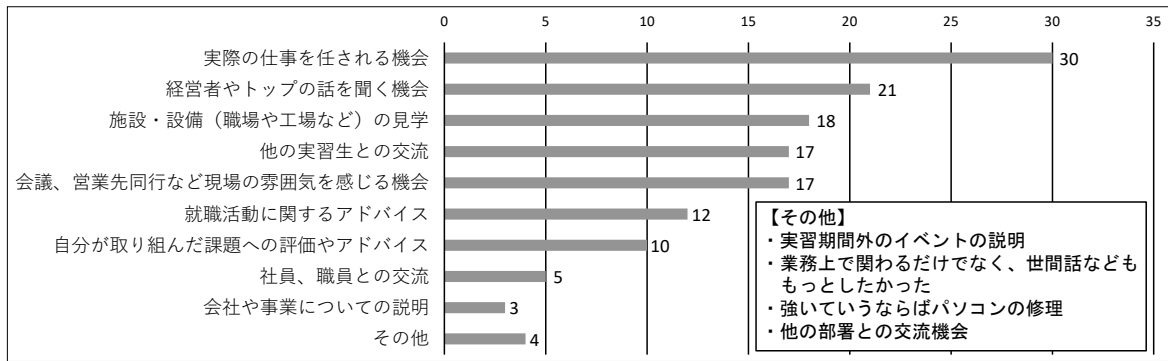
6. 実際の実習内容でよかったもの (複数回答可)

単位：名

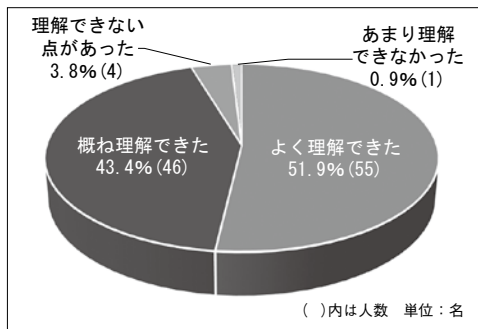


7. 実際の実習内容にはなかった内容で、あればいいなと思ったもの（複数回答可）

単位：名



8. 実習先の業種について、実習前と比べ、どの程度理解が進んだか



⇒ その理由（抜粋）

【よく理解できた・概ね理解できた】

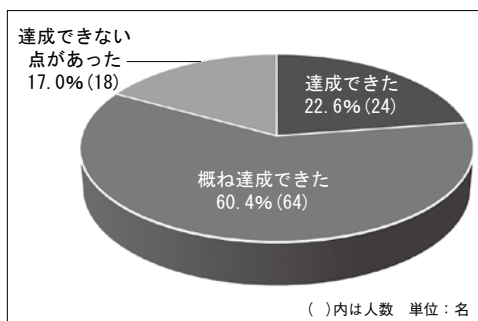
- ・実際にどのような仕事をしているのか、何を使っているのかが知れた。
- ・人事の方と、現場の方の両方から学ぶことができたため。
- ・小さなものにも沢山の人の手が加わっているとわかったから。
- ・実際の仕事内容を確認し、実際に行くことができたので、イメージではなく事実を知ることができたから。
- ・IT業界で「どのような業務をシステム化するか」といった企業側の視点を知ることができたから。
- ・飲食店ならではのしなければならぬことや、衛生面での大変さなどが分かったから。

- ・車に関する業務しかないと思い込んでいましたが、実際は住宅や結婚相談所、ECサイトと人のライフプランをとるような様々な事業を展開されていて、一つの業種に関わらずより幅広い業種について知ることができたから。
- ・公務員という職種について、窓口業務しか知らなかったもので、内勤以外の外回りの現場をよく知ることができたから。
- ・経営方法や計画の立て方など詳しく教えてもらったから。
- ・説明が丁寧で質問にもしっかりと答えてくれたから。
- ・実際に現場で働いている現役社員の方のお話をたくさん聞くことができたから。
- ・トップの人から若い人までいろいろな人から話を聞くことができたから。
- ・与えられた商材を薦めるというロールプレイング形式で身に染みて実感したから。
- ・実習先で働いている人と同じ業務をして、仕事の楽しさや大変さを学べたため。

【理解できない点があった・あまり理解できなかった】

- ・業務内容などの説明を聞いて、理解はしたが、実際に体験や経験を積んだわけではないから。
- ・その業種がそもそも何をやる業種なのかが分かっていなかったから。
- ・難しい内容が多かったり、ずっと座学だったので集中力が持たなかったから。

9. 実習前に立てた目標はどの程度達成できたか



⇒ その理由（抜粋）

【達成できた・概ね達成できた】

- ・人の意見をしっかり聞くことができた。
- ・毎日の日誌の記入によって振り返りと反省を行うことができ、目標に向けた取り組みに繋がったと感じるから。
- ・実習させていただいたのが1人だったため、自分で考え行動する力が少しいたと思う。
- ・業務について理解を深めたいと思う気持ちが1番であったので、その点について達成できた。
- ・他の人とたくさん話すことができ、さらに、話し方のコツなども教えてもらい、レベルアップしたと実感したから。

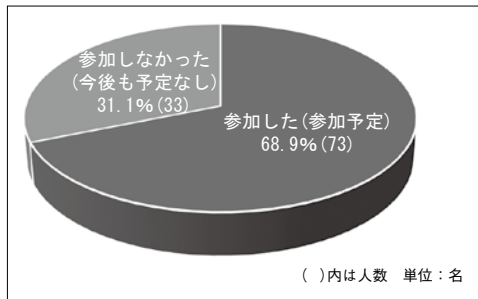
- ・プログラミングが少しできるようになった。
- ・グループワーク内や企業の方への質疑応答など、積極的に意見を出して質問をすることができたから。
- ・自分が将来事務職として働く姿を想像することができたから。
- ・自分が思っていたよりも職員のみなさんがフレンドリーで、楽しく接することができたから。

- 実際に体験し、業種を知ることによって企業選択の視野を広く持つことができるようになったため。
- 実際にゼミなどの発表などに活かせるから。

【達成できない点があった】

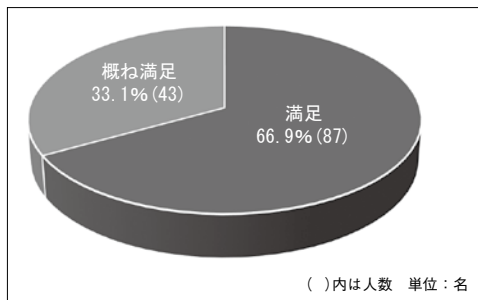
- インターンシップ担当の方としか話ができず、その他の社員の方と話せなかったのが残念だった。
- もう少し公共建築の構造について質問ができたかと後悔してるため。
- 産業用機械について知る事を目標としていたが、まだ知りたいことがあったため。
- 自分をアピールすることがあまりできなかった。
- 自分の考えを伝えることに関して、慣れることはできたが、まだ上手く伝えることができないから。
- 期間が短いこともあり、未熟なまま終わってしまった部分もあった。
- 私の目標は多くの人とコミュニケーションをとることだったので、オンラインでは叶わなかった。
- こちらが主体となることがあまりなかったため。

10. 別のインターンシップへの参加状況 (2022年7～10月)



11. 事前研修について (回答者数 130名)

【全体の満足度】



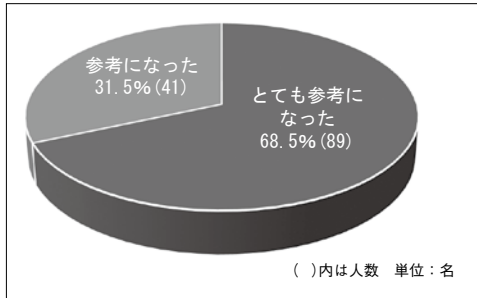
⇒ その理由 (抜粋)

- 目標設定やグループワークなど、インターンシップで必ず行うことが前もって経験できたから。
- 動画による事前学習を補強する内容、また参加目的が明確になるワークであったため。
- 事前研修と言えるべきものが全部詰まっていた勉強になったから。
- 内容全てがインターンシップに参加しても、しなくてもともたけになるものだったので学べて大変よかったから。
- オンライン上でのやり取りだったが、グループワークでは全員が積極的に話し合いに参加し、十分な議論ができたと思うため。

- 将来の進路が違う、他大学の学生と意見を交換することができたため。
- グループワークについても討論、意見の発表とボリュームがあり、様々な意見を聞くことができ勉強になった。
- 大学以外でのグループワークに参加できて自分自身の成長にもなったし、苦手意識を少し改善できたと思うので、満足した。
- グループワークでファシリテータをすることの難しさを理解することができたため。
- グループワークでの他の人の話を回そうとする姿勢や、討論が終わった後もさらにいい対応策はないかあれこれ考えようとする姿勢が勉強になったから。
- 自分のグループディスカッション能力を測ることができたから。
- 私はグループでディスカッションするのが苦手だが、その苦手なことに挑戦できたのでよかった。
- 先輩方から実際にインターンシップ実習に参加された具体的な話を聞いたことで、インターンシップへ臨むイメージがしやすくなったから。
- 今まで、インターンシップに対して自分だけの意見や考えしか持てなかったが、今回、他の学生と会話するにあたり、様々な考え方があってとても参考になり、自分の考えを整理するきっかけになった。
- これから活動することへのイメージと自分の気持ちを整理できた。
- インターンシップへのモチベーションが向上したから。
- ケーススタディの発表においてのフィードバックにより、どのような点が良くてどこが足りていないかなど知ることができて勉強になった。
- 初めての経験が数多くあり、参加するだけでも成長につながる部分があったと感じたから。
- 企業が欲しているのは、人とは違う自分の個性であるということに気づけたから。
- 自分自身の考え方や目標を改めることができたから。

- 1人不安に思っていたが、たくさんの方がインターンに行っているのを見て、自分自身周りと協力して頑張ろうと感じられたから。
- 緊張したが、事前研修を通してしっかりとインターンシップ実習に向けての準備をすることができて、自信をもって参加できると思ったから。
- インターンシップ実習に関して不安と思っていた点の解決ができたため。
- 正装がよかった。
- 最後の班で目標を発表しあう時間が短くて、発表できなかったから。
- 概ね満足しているが、一つだけ、午前の部は体験談メインより学生の質問に答えるのをメインにできればと思った。
- 思い通りに発言できなかった。

【先輩に学ぶインターンシップについて】

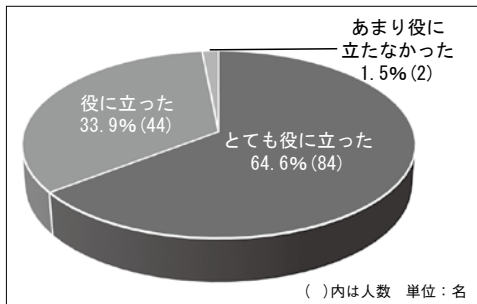


⇒ その理由 (抜粋)

- 実体験を知ること、イメージが鮮明になったため。
- 実際に参加しないと分からないことを聞けたから。
- 皆さん、異なる業界での体験談をお話していただいたため、自身の触れてこなかった業界で知らなかったことや様々な情報を知ることができてよかった。
- 自分が行くインターンシップ先の意見が聞けたから。
- 現地でしか分からないようなことも事前に知れたから。
- 自分達と年代の近い方達の体験談などはとても身近に感じられてよかった。

- 対面、オンライン両方のインターンシップの経験を聞くことができてよかった。
- 質問に的確に丁寧に答えてくれていたから。
- 先輩方の雰囲気と実習先業界がマッチしているように感じられた。業界の求める人物像が想像しやすくなった。
- 「こうなりたい」と思う先輩方だった。
- 特に気をつけたい点など質疑応答が豊富な内容だったから。
- 先輩のお話を聞いて不安だったことや疑問が解消できたので、より一層インターンシップが楽しみになったから。
- 失敗談や注意すべきことを知れたのがよかった。
- 事前に準備するものが分かったから。
- 実際の1日の流れや良いことだけでなく難しかったことまでリアルに話していただき、自分の実習先でどう過ごすべきか現実的に考えることができたため。
- どのようにインターンに臨めばよいかの参考になった。
- 同じ2年生で参加された先輩の声を聞けたから。
- コロナ禍で先輩との交流が少なく、話を伺う機会がなかったので、貴重な意見をいただけて満足した。

【ケーススタディ・目標設定 (グループワーク) について】



⇒ その理由 (抜粋)

【とても役に立った・役に立った】

- 周囲の意見を取り入れたうえで、リスクマネジメントや対応方法についてより具体的に考えることができた。
- 自分達のグループの意見だけではなく、他のグループがどのような議論をしてどのような結論に至ったかが聞けて、意見の多様性を知ることができたから。
- 目標を立てるうえで重要なこと、具体的な数字を設定するなどを学べたから。
- これから社会の一員として働くための大事な成長ステップと捉え、将来、少しでも社会に貢献できる人材になれるよう、働くことへの理解を深め、視野を広げていきたいと改めて考えることができた。

- 色々な人の意見が聞けたことと、みんなで協力する大切さを学べた。
- 改めて、自身の長所、短所を把握できる機会になった。今の私に必要な力を考える時間となった。
- 自分の意見を話すこと、他者の意見を聞くことがとてもためになった。自分の考えをうまく伝えるにはどうしたら良いか考えると同時に、自分の思いつかなかった意見に触れることで、成長できたのでとてもよかった。
- ケーススタディでは、グループディスカッションの難しさを知り、今後の課題が発見できた。目標設定では、インターン参加の意義が明確になり、具体的な方針が定まった。
- 自分を見つめ直すきっかけとなったし、目標が明確化したから。
- 実際に実習先などのグループワークを想定することができたから。
- 報連相などの、きっとこうなんだろうと思うことを、この活動で確信できた。なのでもし、同じような状況になっても自信を持って行動できると思った。
- 自分の意見を、理由を説明しながら発表でき、相手とも意見交換できたから。それぞれの考え方や意見を聞いたり発表したりできた。

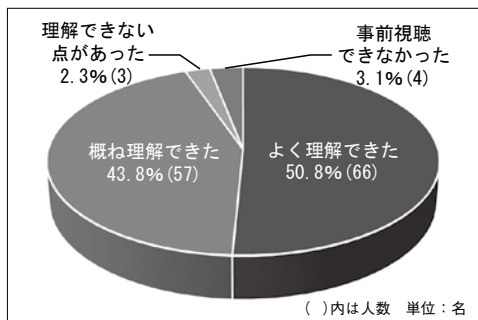
- さまざまな意見を聞くことができ、インターンシップでもしもトラブルなどが起こったらこういう行動をとればよいということが分かったから。
- 時間配分を考えながら、初対面の方と議論する経験があまりなかったので、実践できてよかった。
- ほとんど同じ意見だったので、みんな考えていることは同じだと思ったが、違う意見が出るともっと場は盛り上がったのかなとも感じ、人とは違う意見を出すように今後は気をつけていきたい。
- リモートでのグループワークの難しさを知ったため。
- 時間があまりなく、良いものにできなかったため。しかし、他大学の学生とコミュニケーションを取れたことはよかった。

【あまり役に立たなかった】

- 目標設定に関しては、グループワークは必要ないと感じた。
- お題が少しおかしいと感じた。
- まだあまりまとめきいてない。

【事前学習動画の理解度について】

ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング



⇒ その理由 (抜粋)

【よく理解できた・概ね理解できた】

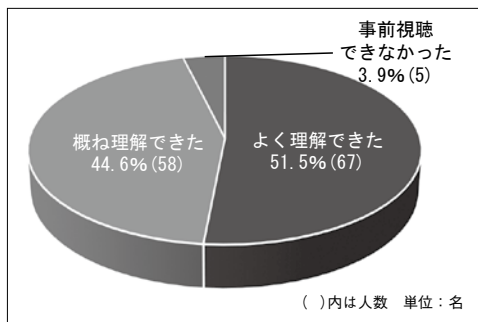
- 自分が知っていたこと、勘違いしていたこと、知らなかったことなどを理解することができたから。
- 大学より詳しくビジネスマナーについての説明があったから。
- マナーの意味を企業側の視点から考えることができたため。
- とても詳細に説明していただき、なぜビジネスマナーが必要であるのか、重要なのか理解できた。
- とても聞きやすいもので、内容も詳細や例があったためわかりやすかった。またスライドもあったためメモや理解がしやすかった。

- 講師がにこやかな方で話も理解しやすく、視聴後は頑張ろうという気持ちかわいてきた。
- 音声聞きやすく、具体例を用いてお話されていたため、分かりやすかった。動画一つの時間が少し長く感じたため、さらに的確にまとめていただきたかったと感じる。
- まだ一度見ただけなので見返してもう少し理解を深めたい。

【理解できない点があった】

- 知っているマナーもあれば知らないマナーもあり、知らないマナーを覚えられるのか少し不安だから。
- 実際に体験してみないとよくわからないものもあったから。

企業理解・リスクマネジメント



⇒ その理由 (抜粋)

- 報連相について意識することなどを学べたのがよかった。
- インターンシップでこれは行ってはいけないということについて、理由を踏まえて説明してくれているので、分かりやすかったから。
- 機密情報や敬語などこれから就職するにあたってかなり大切なことなので、この機会に知れてよかった。
- SNSの危険性を見直すことができたから。
- 大学では教えてもらえないことを知れたから。
- 社会で働く上で常識的なことを学べたため。
- 実際に企業で働く場合の、イメージなどを実感することができたから。

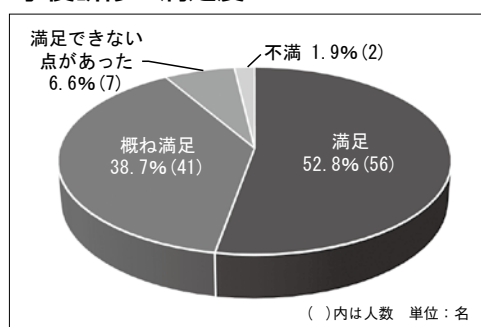
- 受入先の企業がインターン生になにを求めているかを知ることができた。
- インターン生としての心構えができたから。
- トピックを最初に提示してからの説明だったので、理解しやすかった。
- 企業は組織で動いているということを意識して、行動することが大切だと理解しました。
- 動画であったため何度も再生でき、停止もできたためよかった。

【その他、事前研修を受講した感想や意見 (自由記述)】

- とても密度の濃い事前研修で、有意義な時間だった。インターンシップへの気持ちも高めることができた。
- インターンシップに参加する自分と真剣に向き合うことができた時間だった。
- 企業側は大抵はどういった考えをしているのか知れて、今後の参考にしていこうと思った。
- 他の参加者の方々がすごくしっかりしているなと感じた。そのため私自身もっと気を引き締めて成長していきたい。

- 同じ就活生がどういった考えで就職先を選んだのか、どういったことを学びたいのか知れてよかった。
- 自分一人だけでなく、他者と思いを共有することでインターンシップへのモチベーションが高まった。
- 1つ目のグループで緊張して上手いこと話せなかったが、2つ目のグループで自分の長所を活かして全員で活動することができた。
- グループ内で司会的な役割をしたり、発表するのは苦手ですが、苦手だからこそ、やってみてよかった。助言をくださった講師の先生ありがとうございました。
- グループワークがあるということで、始まる前は緊張していたが、実際にやってみると自分が想定したよりも積極的に発言することができ、自信につながった。
- 先輩方の体験後の感想や質問コーナーによって不安が少し取り除かれ、実習への期待感が高まった。
- 先輩方のお話を聞いたり、他の大学からの参加者の方とグループワークなどをして、インターンに行くまでに自分ももっと準備したり、心構えをしっかりとしようと思えた。とても有意義な時間になった。
- 先輩方の話がとても参考になった。初めてのインターンシップでもとても緊張するが、精一杯頑張りたい。
- 初めは緊張していたが、講師の方や先輩方のお話を聞いていると緊張より興味の方が強くなり自然とほぐれた気がした。さらに、目標設定の際は1人の方が率先してお話をしてくださったので、自然と笑顔も増えて最終的には楽しく終わることができた。
- 事前研修から、沢山の社会への学びに繋がったので改めて参加してよかった。事後研修は対面で受講したい。
- 事後研修でも、グループワークがあればいいと思った。

12. 事後研修の満足度



⇒その理由(抜粋)

【満足・概ね満足】

- グループディスカッションをして、必要な力がよくわかった。
- インターンシップを通して得た体験をアウトプットでき、経験に変えることができたため。
- 色々な人の話を聞いて、今後の就職活動に関する不安が少し和らいだから。
- 自分が経験していないことも、他の実習先の人の話で聞けたから。
- 実習後の研修としてとても充実していた。まずは講習によって、しっかりと大切なことが知れたり再確認できた。またグループワークにより、他の学生がどこでどのような実習ができて何を学べたのかも知れてとてもためになったから。

- 初めての人達ともしっかりと協力して課題に取り組めたから。
- 前はzoom上でしか知らなかったメンバーと、会って話し合うことができたから。
- 企業の話聞くこともでき、他大学との交流もあったのでよかった。
- 企業講演ではこれからの社会に必要な人材について聞くことで、自分が今後どの姿を目指すべきか把握できた。
- 企業講演で今後、社会がどうなっていくのかや、求められる人材、今からできることなどを知ることができたから。
- 社会人としての必要な力やスキルを学ぶことで、人間関係や職業への興味などを考える機会となった。
- グループワークでは企業の方々と話す機会も多く、質問がたくさんできた。

【満足できない点があった・不満】

- 自分のプレゼンの内容が不満だった。
- 初めて対面で他大学のインターン生と関わったが、緊張であまり会話できなかった。
- グループワークがスピーディーでもう少し話したかった。
- グループワークであまり内容共有ができなかった。必要性を感じなかった。
- 企業講演が短く全体的に時間に余裕がないように感じたため。後日見返せる等あれば、理解できなかった部分などを再度見ることで理解することができると考える。
- 駅から遠い。リモートでもよかったのではないかな。
- 将来何も決まっていなくて不安だどうしよう、という人に対しての考え方を聞きたかった。

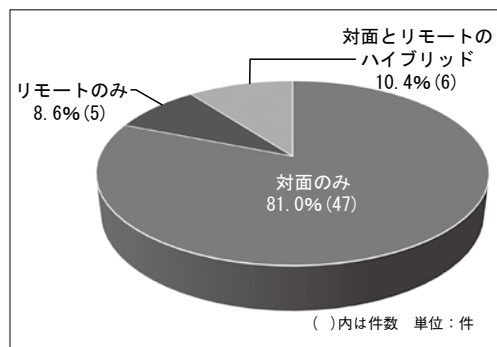
13. その他、今回のインターンシップ・プログラムについての感想・意見

- 目標を立てて実践し、振り返るところまでしっかり手を尽くしてもらってとてもいい機会だった。
- 自分自身の変化に気づくことができたため、インターンシップに参加する目的であった自己分析の機会を得たことが一番の収穫だと感じた。
- 働くにあたって重要なこと、必要なことを学ぶことができ、業種研究にもなって、とても有意義なものになった。
- 今回初めて5日間の実習に参加し、1日プログラムでは得られないような経験ができて、参加してよかったと感じた。社会人になる前に仕事を体験することができたこと、他大学の学生と交流ができたこと、企業の方とも交流ができたことに感謝し、この後の大学生活でも色々な経験をしていきたい。
- やったことのない営業経験ができて、意外と向いているかもと思えた。新しい発見があってよかった。

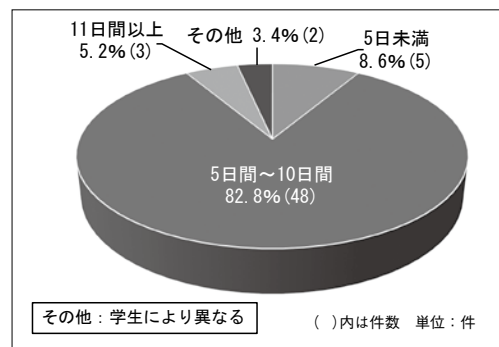
- 最初は、あまり行っても意味ないかなと思っていたが、いざ行ってみると行ってよかったと感じた。
- 家からとても遠かったが、直接働いている方とお話できる機会や、お客様ともコミュニケーションを沢山取ることができたので、とてもよい経験になった。
- 急遽実習先が変更になるという戸惑いや、不安もあったが、社員の方々と充実した時間を過ごすことができた。普段の大学生活では体験できないようなことを経験させていただき、勉強になっただけでなく、自分自身への自信へとつながった。
- 大変だったことも沢山あったが、これからの人生に役立つ経験が沢山できた。
- 事前研修・事後研修やインターンシップ先で他大学の方たちと関わる機会が得られてよかった。
- 他大学の学生と交流できたことがよかった。
- 実習先に他のインターンシップ生がおらず、情報共有等はできなかったが、その分受入先の方々にはよくしていただいて感謝しかない。意外と外回りの活動が多く、実習先が遠いこともあり体力的にきつかったが、自分の将来の選択肢を増やすいい経験になった。
- 2週間の実習で、始まる前までは長い期間続けていけるのか不安ではあったが、実際に行ってみるととても楽しく、あっという間の実習になった。毎日グループワークを行っていた中で、意見を一つにまとめる難しさやオンライン上での間のとり方など、勉強になることがとても多かったと感じた。
- 企業の方との交流において、プライベートなことから就活のことなど、普段の説明会では話せないことも聞けたので、より企業の雰囲気等を知れた。
- 社会人としてのマナー等学んだうえで、就職活動をするにあたりもう一度振り返って活かせるようにしたい。
- 自分にとって、とても貴重な経験になったと感じるが、できれば3年生ではなく、2年生や1年生の頃に取り組みたかったと思った。
- 夏休みに実習して、事後研修をするまでの期間が少し空きすぎではないかと思った。

2 企業・団体アンケート結果（回答件数 58 件）

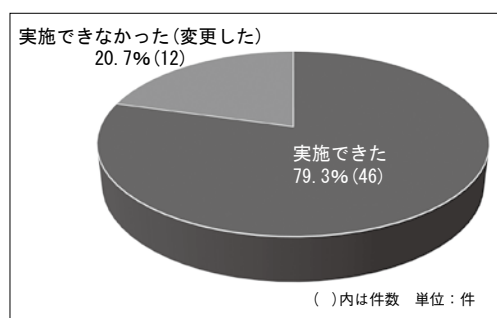
1. プログラムの実施形式



2. プログラムの実施日数（実働）



3. 当初の予定通りの日程で実施できたか



【予定通り実施できなかった理由】

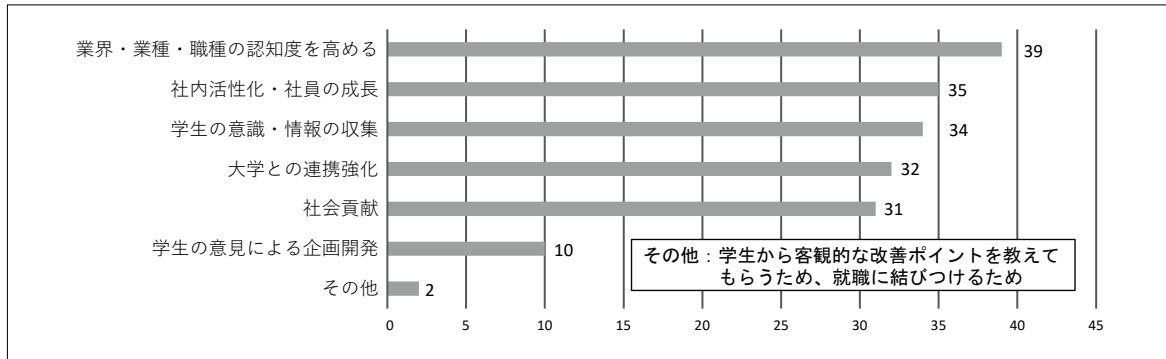
- 学生の体調不良、コロナ感染または濃厚接触
- 担当者または社員のコロナ感染
- 大阪府下及び社内での新型コロナウイルス感染状況に鑑み変更
- コロナ感染リスク低減のため
- イベント開催日の変更

4. コロナ禍における実習生受け入れにおいて、従来と変更した点や工夫した点

- 消毒、アルコール消毒（他 9 件）
- 検温（他 8 件）
- マスク着用（他 5 件）
- 換気（他 3 件）
- 食事や会食について工夫した。（他 3 件）
- ソーシャルディスタンスの確保、仕切りを用意（他 2 件）
- 外出や店舗実習での工夫（他 2 件）
- グループワークの方法を工夫した。（他 1 件）
- リモート実習を取り入れた。（他 1 件）
- 業務用空気清浄機の設置
- 手洗いの励行
- PCR 検査や抗原検査を実施した。
- 学生の指導に関わる社員の人数を必要最低限とした。
- 検温と体調、接触履歴等をGoogleフォームに入力のうえ記録保管した。
- 社員や学生の中でコロナが発生した際の想定（リモート対応）を行った。
- 事前および期間中の体調確認を徹底、本人へ体調管理について説明、依頼した。
- 感染防止のためのガイドラインを開催前に学生に周知した。
- マスク着用を必須とする代わりに、熱中症対策として、スーツ等の服装に関しては柔軟に対応した。

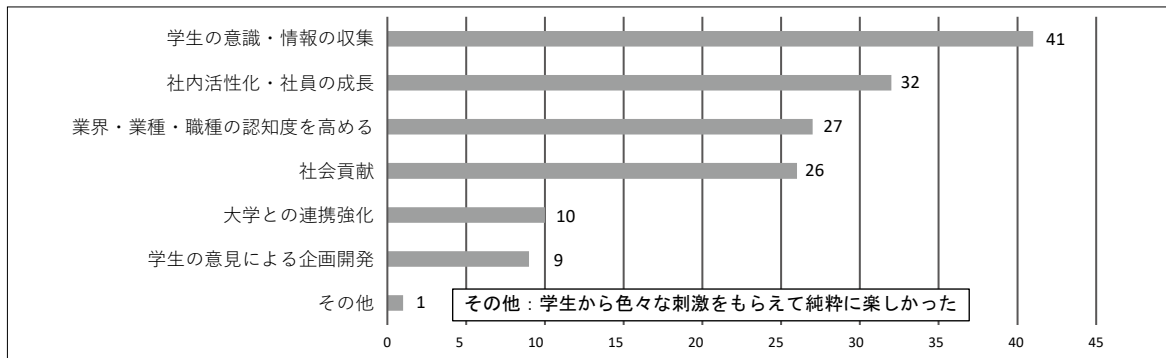
5. 実習生を受け入れた理由やインターンシップに期待したこと (複数回答可)

単位：件



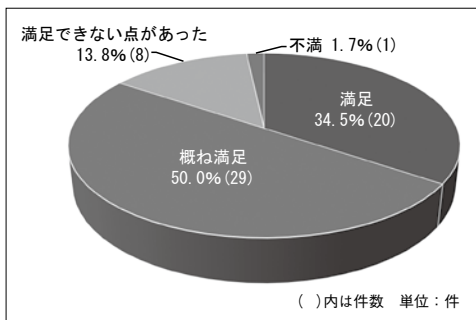
6. 受け入れ後、実際に得られた効果 (複数回答可)

単位：件



7. 今回のインターンシップに関する満足度

【全体】



⇒ その理由

【満足・概ね満足】

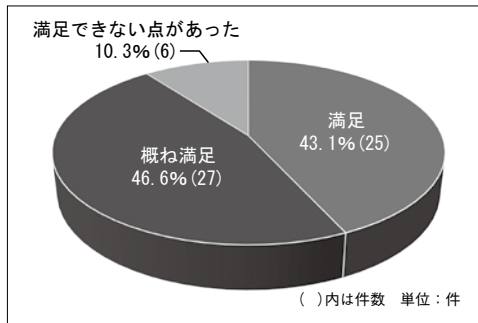
- 学生の成長する姿を実感できたため。
- 実習生の実習への意欲が感じられたため。
- 皆さん熱心に取り組んでいただき、とてもやりやすかった。
- 実習生の受入が、職員や長期インターン生の成長に繋がった。
- 従業員にインターンシップ生を受け入れる形ができてきた。
- 学生が2人とも聞き上手で教えやすく、社内が明るくなった。
- これから就職活動をする学生の考え方等に触れることができた。
- これまで交流のなかった大学の学生も参加してくれた。
- 学生たちの企画が商品化され、社員がヒントをもらった。

- 学生に飲食業界について知ってもらうことができた。
- 初めての受け入れだったため手探りな部分も多くあったが、学生の声を聞く機会が多くあり、充実した5日間を過ごせた。
- 概ね当初の目的（社会貢献）が達成できたから。

【満足できない点があった・不満】

- 学生の出願が少なかった。
- 学生が土壇場でキャンセルとなった。
- 学生が自身の成長の手応えを大きく感じていない。
- もっと時間があれば、文章の書き方を指導できた。
- リモートで実施したため、学生が知りたいと思ったことに応えることができたかがわかりにくかった。
- 学生の学習進度が把握できないため、事前の準備が困難であり、学習進度と実習内容に差異があったのではないかと心配があった。
- 学生が本当に当社事業に興味をもって参加したのかがわかりにくかった。
- 書類のやり取りが大変だった。

【実習生】



⇒ その理由

【満足・概ね満足】

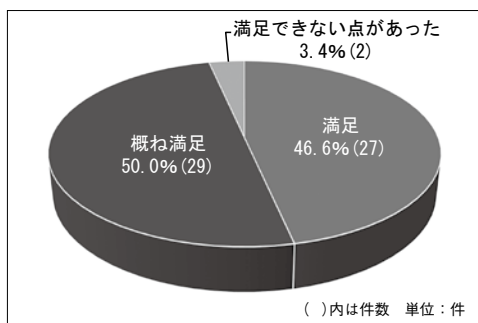
- 座学中も熱心にメモを取るなど、高い学習意欲を感じた。
- 夢を持つ学生で、高い意欲を持って取り組んでいた。
- 積極的に実習に取り組む姿勢が見られ、現場からも好評の声が聞かれた。
- 最初は緊張のためか硬かったが、日を追うごとに積極的になっていった。
- 説明や実習体験の中から、理解を深め、知識や経験を獲得しようとする意欲が高かった。
- 分からないことは聞いていただき、真面目に参加いただけた。

- 指示の内容について自分なりに考え実施してくれたし、実習後の日誌や振り返りからも、実習中に伝えたことをきちんと考え、次の目標設定やアクションを考えていると感じた。
- 挨拶や返事がハキハキと明るく、職場の雰囲気よくなった。
- 聞き上手で、興味をもって聞いてくれ、しっかりメモもとって、その後の実技に繋げてくれた。
- ビジネスマナーを含めしっかりした学生ばかりだった。
- 主体的に動き、インターンシップ前後で成長している様子が見受けられた。
- 本人の将来の就職先希望とは異なる方面の職種であったが、前向きに取り組んでくれた。

【満足できない点があった・不満】

- 与えられるのを待つ姿勢や、周りがしないからしない、というマイナスの同調が気になった。
- 実習に臨むにあたっての具体的な目標や課題設定がなく、もう少し積極性があればよかった。
- 真面目には取り組んでいたが、積極的意欲が感じ取りにくかった。
- 社会人としての挨拶や声かけへの対応を一から指導する必要がある。
- 聞く姿勢などマナーに改善要素があった。
- 報告や相談のない行動が見られた。
- 無連絡での遅刻や、講義中の居眠りなどが目立つ学生がおり、注意をしても態度を改めなかった。

【事務手続き】



⇒ その理由

【満足・概ね満足】

- 手順が明確でわかりやすかった。
- 日程変更等にも柔軟に対応していただけたため。
- はじめての受け入れだったが、メールなどで適切なアドバイスをいただけたので円滑に取り組めた。
- 各大学とのやり取りが、大学コンソーシアム大阪でまとめられていて、事務的な負担が減った。
- コロナ罹患で中止も考えたが、フォローしていただきリモートで実施できた。
- コロナ禍で久しぶりの受け入れだったが、問題なく手続きを進めることができたから。

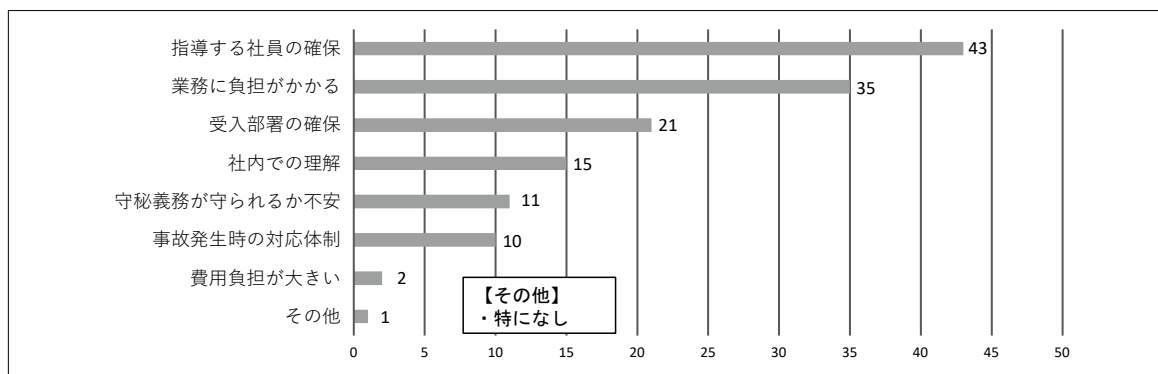
- 基本的な事務手続きだったので、特に煩わしさなどは感じなかった。

【満足できない点があった・不満】

- 社員の在宅勤務を推奨しているため、提出物は郵送ではなくオンラインで可能なものが増えるとありがたい。
- 評価表の店舗とのやり取りに手間取ったので、実習日誌と評価表は分けていただけたほうがありがたい。
- 学生がコロナに感染し実習が延期になったが、今後の対応などの連絡が、こちらからの働きかけがないと動いていただけなかった。
- 協定締結などがアナログなため。
- 書類のやり取りが多く手間だった。

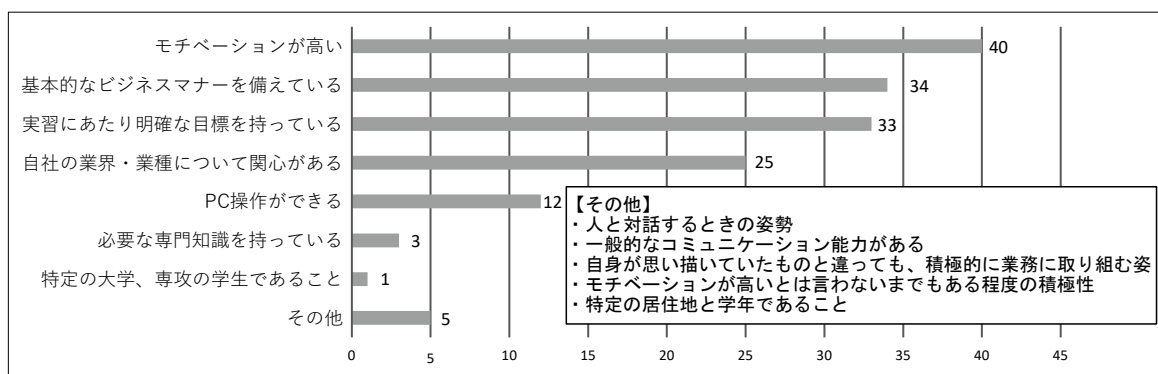
8. 実習生受け入れにあたっての課題（複数回答可）

単位：件



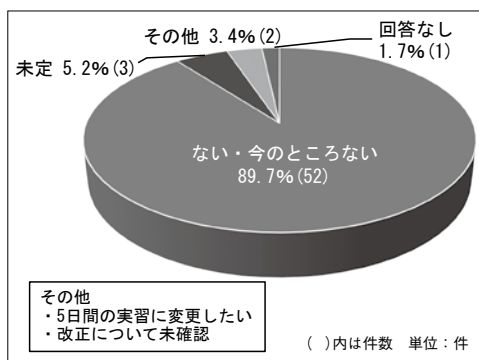
9. 受け入れる学生に求めること（複数回答可）

単位：件



10. 三省合意の改正（※）を受け、実習生受入方針に変更の予定はあるか

※2022年6月13日付にて改正された「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（文部科学省、厚生労働省及び経済産業省合意）



⇒ その理由

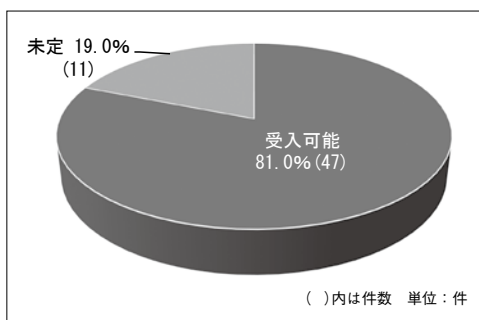
【ない・今のところない】

- ・当初より採用活動とは別で考えているので、変更はない。
- ・これまで同様に、学生支援・キャリア支援に努めるプログラムにて実施する。
- ・現時点での変更は難しいが、今後考えていく。

【未定】

- ・就業体験を必須にするということが課題になりそうだ。

11. 来年度以降のインターンシップ実習生受入について



⇒ その理由

【未定】

- ・就業体験の提供についての社内調整ができなければ、受入不可となる可能性がある。

12. インターンシップ全般に関する感想・意見・要望

【感想】

- 大学コンソーシアム大阪の実習生は概ね意識が高く、真摯な方が多いため、こちらの職員の意識、モチベーションも上がる。
- 大学コンソーシアム大阪のインターンシップでは、意外な大学からの実習生を受け入れることができ幅が広がった。
- 学生が実習に来てくれることで社内活性につながるので、来年以降も一人でも多くの学生にぜひとも参加していただきたい。
- 10日間の受け入れは初めてだったが、とても貴重な経験になった、職員の成長や経験にも繋がることを実感した。
- 学生に直接情報を聞くことができ、今後の接点も持てるいい機会だと思う、社員の成長にも繋がっている。
- 実習生の受け入れは社会奉仕だが、社員教育の一環としても考えている。今回、学生が学びたいことと弊社が得意としている分野をマッチングしていただいたおかげで、学生にとって非常に有意義な時間になったと感じ、弊社社員も指導することによって成長した。
- 学生によって負担が違うが、今回は興味をもって聞いてくれたので、教える側のモチベーションは上がった。
- 企業を知ってもらうことを主目的として、続けていきたい。

【意見・要望】

- 当社及び当社に関わる業界に興味のある学生に広く参加してほしい。
- 採用活動とは明確に区分した本来のインターンシップが継続されることを望む。
- 学生は実習日誌を書くことに多くの時間を使っているため、もう少し負担を減らしてはどうかと思った。
- 実習日誌は毎日手書きで提出しており、それを毎晩こちらで手書きでコメントを記入しているが、まとめて記入したり、フォームでパソコンで記入してもらうなど効率化ができれば非常にありがたい。
- 実習日誌や評価報告書が、大学により日誌が別であったりしてややこしかった。
- 学生の居住地や学年を考慮したマッチングをお願いしたい。
- 学生の自宅にパソコンがあり、zoomができることを望む。

The Consortium of Universities in Osaka



2022

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-400
大阪駅前第2ビル4F キャンパスポート大阪
[TEL] 06-6344-9560

[MAIL] career★conso-osaka.jp

※★を@に変えてください

[URL] <https://www.consortium-osaka.gr.jp/>

大学コンソーシアム大阪 🔍 検索

